

大人のための北東北エリアマガジン ラ・クラ 特別編集

ra^{ラ・クラ}kra × 平川

青森県平川市

HIRAKAWA TRAVEL

GUIDE BOOK

TAKE FREE

とつておきの
平川を
探しに行こう



いま行きたい3つのエリア

尾上・平賀・碓ヶ関

庭を眺めるために
建てられた館



国指定名勝 盛美園

ジブリ映画「借りぐらしのアリエッティ」の舞台の参考になったといわれている場所。

園内の一角には「盛美館」という、1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷の建物があり、庭園と融合した独特の美しさがある。また、日本最大の蒔絵が飾られた御宝殿は、一見の価値あり。

●平川市猿賀石林1 ●TEL 0172-57-2020
●開園時間／9:00～17:00(12月～3月10:00～15:00) ●休園日／年末年始 ●入園料／大人500円、中高生330円、小学生220円
※御宝殿は保存のため、入園時間内30分ごとに1回3分のペースで公開



平川市はエリアによって
まちの雰囲気異なる。
ひとつのエリアをじっくり歩くもよし、
各エリアから気になるスポットを
チョイスするのもよし。
巡り方はあなた次第。

いま行きたい 3つのエリア



■QRコードに、QR読み取り機能付きスマートフォンをかざすと掲載スポットの動画が見られます。



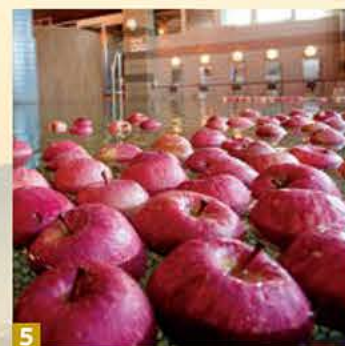
#盛美園 #盛美館



#三社神社 #鬼コ



#津軽の桃



#南田温泉ホテルアップルランド #りんご風呂

#やっぱりここだね、平川市

和洋折衷の不思議な建物、
桜と蓮が美しい神社、
山間に湧く秘湯。
夏は世界一の扇ねぶたが運行し、
冬はイルミネーションが映える。
あなただけの
とっておきの平川を
探しに来ませんか。



#猿賀公園ライトアップ #おのえ桜と植木まつり



#三笠山公園 #紅葉



#蓮の花 #猿賀公園



#ひらかわイルミネーションプロムナード

1 深い甘みをもつ津軽の桃も平川の自慢のフルーツ。2 「三社神社」のように、津軽地方には「鬼コ」をのせた鳥居を持つ神社が多い。
3 明治文化の面影をしのばせる春の「盛美館」。4 「おのえ桜と植木まつり」では、「猿賀公園」の夜桜が美しくライトアップされる。5 りんごを浮かべた風呂が有名な、りんごづくしの温泉旅館。6 平川市と友好交流協定を結んでいる台湾・台中市の提灯やイルミネーションが冬の平賀駅前を彩る。7 夏は「和蓮」が猿賀公園の鏡ヶ池一面を彩る。8 秋には紅葉を見ながら碓ヶ関を全貌できる「三笠山公園」。

水面に映る 満開の桜にうっとり



猿賀公園

「猿賀神社」に隣接する公園。春には神池である鏡ヶ池、見晴ヶ池を取り囲む約330本の桜が咲き誇る。また、昔から造園業が盛んだった尾上エリアの造園業者が共同で作庭した「見本庭園」もあり、趣の異なる6つの庭園が並び、造園技術の高さが垣間見られる。

- 平川市猿賀石林地内
- 問い合わせ／平川市商工観光課 (TEL 0172-44-1111)



四季の蔵もてなしロマン館



盛美園に隣接するショップ & レストラン。地元野菜や加工品を購入できるほか、レストランでは一番人気の「煮干しラーメン」を味わいながらゆっくりと過ごせる。

- 平川市猿賀石林10-1
- TEL 0172-43-5610
- 営業時間／9:00～17:00 (11月～3月16:30まで)
- 定休日／年末年始



「猿賀神社」の信仰の中心となっている「鏡ヶ池」。中島周辺は散供占いの霊場であり、伝説によると津軽二代藩主・津軽信牧が霊夢によってつくったといわれている。



尾上のどっぴおき!

鏡ヶ池の蓮は、午前中が見頃

「猿賀神社」は初夏になると蓮の名所となる。「鏡ヶ池」を覆うように蓮の葉が生い茂り、その間からピンク色の花が姿を見せる。朝6時ごろから咲き始め、昼過ぎにはしぼんでしまうので、お出かけの際は早目に。毎年7月下旬には「平川市蓮の花まつり」を開催。

※「平川市蓮の花まつり」の問い合わせ／(一社) 平川市観光協会 (TEL 0172-40-2231)

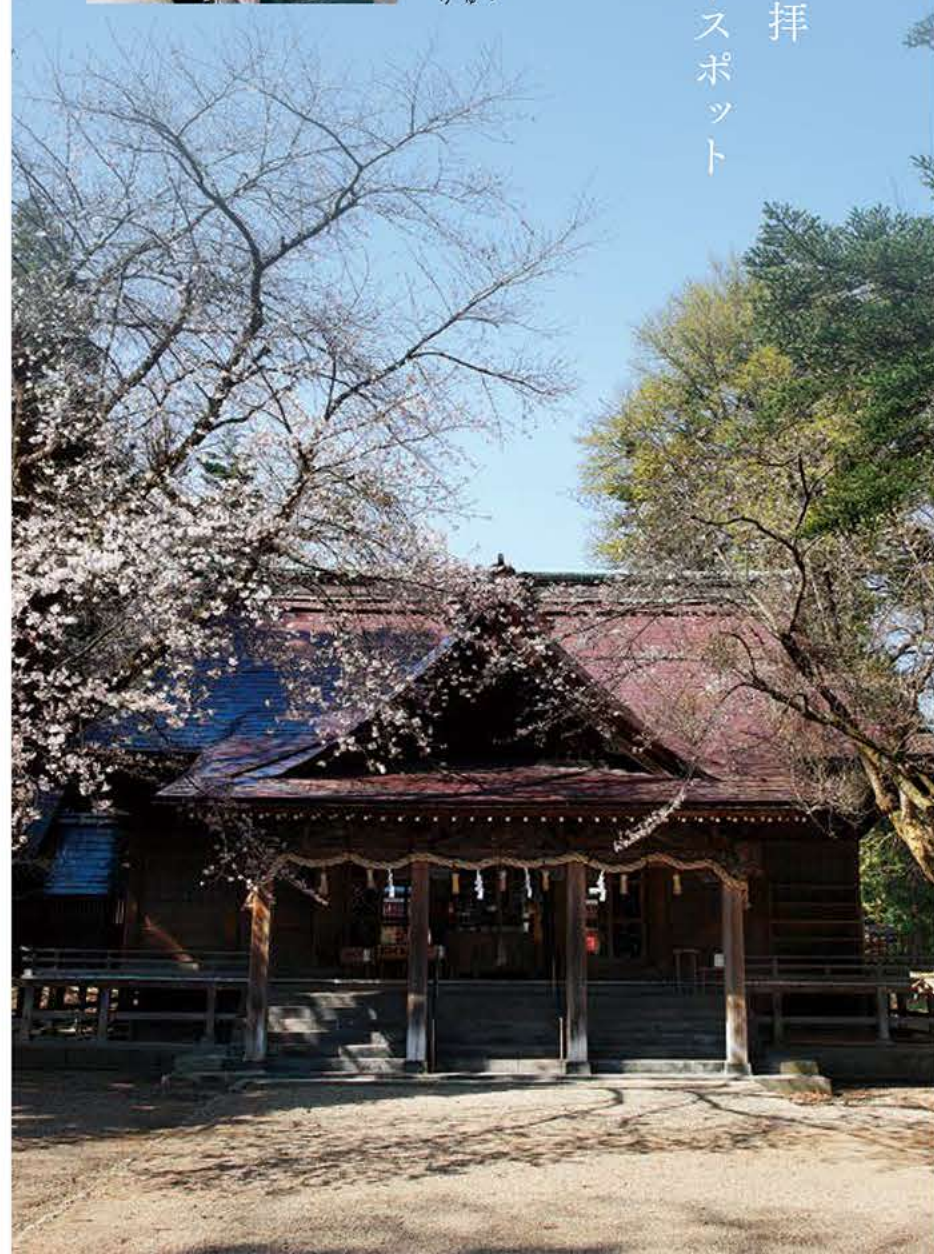


「菓子処西谷」では、鏡ヶ池の蓮にちなんだ「蓮根羊羹」を製造・販売。尾上みやげとしてもぴったり。※問い合わせ／菓子処西谷 (TEL 0172-57-2240)



拝殿の東側にある「あかい堂(水天宮)」。龍神・水波能女神を祀り、社の裏側を覗くと龍頭(りゅうとう)から水が流れる。軒下には見事な木彫りの大蛇が2体おり、参拝者を見守っている。

歴代の領主が崇拝 津軽のパワースポット



いま行きたい
3つのエリア
ONOE

尾上

尾上を歩くと、先人の思いを感じる。みごとに庭園や生け垣、いにしへの伝説が残る寺社が点在し、ノスタルジックな旅を楽しめる。

猿賀神社

坂上田村麻呂が上毛野君田道命を祀り建立。藩政時代には津軽為信の祈願所となり、農漁業、交通、眼の守護神として崇拝される。桜と蓮の名所として知られ、拝殿から「胸肩神社」に向かう鏡ヶ池は、7月下旬になると一面、蓮の花に覆われる。

- 平川市猿賀石林175
- TEL 0172-57-2016



緑の匂いと水音、散策がたのしいまち



青森県産牛のパティ
プレミアムバーガーを味わう

「濃厚プレミアムチーズバーガー オリジナルサイズ (1303円)」。「自家製ジンジャー」はセット価格366円・単品427円。全て税込。

ユイット デュボワ 八幡崎店



青森県産牛のパティを炭火焼きし、国産野菜を挟んだプレミアムバーガーが評判。4種類のチーズを使った「濃厚プレミアムチーズバーガー」は、味わい深いひと皿。「自家製ジンジャー」と共にどうぞ。

ひとりでゆっくりと過せるカウンター席。
● 平川市八幡崎松枝42-1 ● TEL 0172-40-2838
● 営業時間 / 11:00 ~ 15:00 ※夜は予約制 (4名から予約可) ● 定休日 / 金曜



1 月1回の営業日には、遠くからお客が訪れる。2 平川市産米粉などをつくる体に優しいパン。月替わりメニューもあり。

みんなが集う、街の店

白金珈琲 (プラチナコーヒー)

30種類以上のコーヒー豆などを販売。「平川ブレンドりんごの花」は調和のとれた味で、おみやげにも最適。県内唯一のSlayer Espresso社のエスプレッソマシンで淹れたカフェラテやエスプレッソも絶品。

● 平川市日沼樋田2-1 ● TEL 0172-55-0938
● 営業時間 / 9:00 ~ 19:00 (変更あり) ● 定休日 / 不定休



1 コーヒーの香りが漂う店内。2 「平川ブレンドりんごの花」は100グラム・650円。
3 「Drip Based (400円)」でゆっくりと。全て税込。

定番寄り道ス
平川ブレンド
でひと息



月イチ営業の蔵カフェ、手づくりのパンが自慢

国産小麦と米粉のパン 蔵工房

農業生産法人「グリーンファーム農家蔵」が空き家を改装してオープン。毎月最終金・土曜のみの営業で、カフェスペースのほか、店頭では国産小麦と米粉「つがるロマン」を使用したパンを販売している。

● 平川市金屋中松元88-1 ● TEL 0172-88-5039
● 営業時間 / 毎月最終金・土曜11:00 ~ 16:00



冬こそ訪れたい
一夜限りのイベント

農家蔵ライトアップ

金屋地区は、国登録有形文化財「農家蔵」と農家庭園が現存し、後世へ残すべき建造物・文化遺産として全国から高い評価を得ている。毎年1月下旬には一夜限りのライトアップを開催。雪と行灯の幻想的な光景は一見の価値あり。

● 平川市金屋中松元 問い合わせ / NPO 法人尾上蔵保存利活用促進会 (TEL 0172-57-5190)

津軽地方の庭園の歴史と技術を間近で

農家蔵・農家庭園めぐり

米やリンゴを貯蔵するために必要だった農家蔵や「つぼ」と呼ばれる農家庭園。ガイドと巡る体験プログラム (通年) もあり、普段入ることのできない私有の庭園や蔵の中が見学できる。

● 平川市金屋中松元
● 問い合わせ / NPO 法人尾上蔵保存利活用促進会 (TEL 0172-57-5190)



武骨で個性的な
庭園流派
大石武学流の源流
国指定名勝
清藤氏書院庭園

「盛美園」に隣接する庭園。清藤氏の歴史は古く、鎌倉時代まで遡る。書院庭園は江戸時代末期の作庭で、津軽地方に見られる大石武学流の源流といわれる。母屋は明治初期に建築されたもの。

● 平川市猿賀石林1 ● TEL 0172-57-2127
● 開園時間 / 9:00 ~ 17:00 (事前問い合わせ) ● 休園日 / 不定休
● 入園料 / 大人300円、高校・大学生200円、小中学生100円



農村に花開いた蔵と庭園 生け垣文化を今に伝える

昔から造園を生業にする人たちが多かった尾上エリア。道路沿いにはサワラの生け垣が続き、さわやかなサワラの香りがすることも。全国でも珍しい「平川市の生け垣を守り育てる条例」が制定され、保存に力を入れている。

生け垣が続く小路

猿賀神社近くに「リヤカーけん」と呼ばれる小路がある。「けん」とは津軽弁で道路のこと。「新日本歩く道紀行の歩いておきたい1000の道」のひとつ「生け垣と庭園散策コース」に選ばれている。

● 平川市八幡崎地内



道マニアも訪れる
リヤカーけん



道の駅メイン施設から関所資料館へ行く途中にある「大名足湯」。冬季は閉鎖。

カレーもおいしい
碓ヶ関の観光拠点



「野菜カレー（900円・税込）」は、レストラン「彩里」にて。



道の駅いかりがせき

関所資料館をはじめ、温泉、食事処、産直、おみやげ店などが揃う。ここに来たら味わいたいのが「野菜カレー」。カレールウに碓ヶ関の特産であるマルメロ、青森県産鶏を入れた自慢の一品だ。

- 平川市碓ヶ関碓石13-1 ● TEL 0172-49-5020
- 営業時間／4月～11月9:00～19:00、12月～3月9:00～18:00
- 休館日／年末年始



碓ヶ関の
どって
おき！
根曲がり竹

5月中旬から6月上旬にかけて、平川市の山間部で採取される「根曲がり竹」。採れたては皮付きのまま焼き、皮を剥いて食すことも。味噌汁や煮物、炊き込みご飯の具材にも使われ、1年中食べられるようにと、瓶詰めの加工品も販売されている。

羽州街道 矢立峠 歴史の道



↑矢立峠は「歴史の道」として、遊歩道が整備されている。



↑津軽と秋田の境の印だった「矢立杉」。矢立峠の由来となった杉であり、伝説が残る。

藩主や偉人たちも通った 秋田杉が林立する美しい森

秋田と津軽をつなぐ羽州街道。矢立峠は、天正14年(1586)に津軽為信が切り拓いたといわれ、江戸時代には代々の藩主が参勤交代のときに通った道である。羽州街道一の難所といわれ、江戸時代の紀行家、菅江真澄や伊能忠敬、吉田松陰などが通り、明治には、イギリス女性旅行家、イザベラ・バードも通った。

イザベラ・バードは、旅行記『日本奥地紀行』の中で、矢立峠を「私は日本で見たどの峠よりも、此の峠を褒め讃えた」と紹介している。



脱藩者や問者を防ぐための取り調べ風景。

江戸時代の
記憶と記録が残る関所



いま行きたい
3つのエリア
IKARIGASEKI

碓ヶ関

秋田と津軽を結ぶ羽州街道の要の地として栄えた碓ヶ関。その面影が街のあちこちに感じられる歴史の街である。

碓ヶ関御関所

天正14年(1586)、津軽為信は、津軽街道と羽州街道の交点にあり交通の要衝だった碓ヶ関に御関所を設置。調べの厳しさでは、「厳重なること箱根の関所も及ばない」といわれるほどだったという。「関所資料館」では当時の取り調べの様子が再現されている。

- 平川市碓ヶ関碓石13-1
- TEL 0172-49-5020
- 開館時間／9:00～17:00
- 入館料／無料
- 休館日／年末年始

雪のように白い岩肌
凝灰岩の美を堪能する

白岩森林公園

真っ白な岩肌と緑の木々や青い空とのコントラストが美しく、神秘的な「白岩森林公園」。5月下旬には「白岩まつり」でにぎわう。展望台まで草花や森林浴を楽しむながらトレッキングができる遊歩道もあり、アウトドアにおすすめ。

- ◎ 平川市尾崎黒倉沢1-1
- ◎ 開園期間／4月中旬～11月中旬
- ◎ 問い合わせ／白岩森林公園管理棟 (TEL 0172-44-2611)



縄文から近代まで
平川市の歴史を伝える

平川市郷土資料館

資料展示コーナー（常時公開）には、市内の遺跡からの出土品のほか、指定文化財や市ゆかりの人物写真などを展示。収蔵庫には貴重な民俗資料や古文書などが保管されている（要予約）。



- ◎ 平川市光城2-30-1 平川市文化センター内 ◎ TEL 0172-44-1221
- ◎ 入館料／無料 ◎ 休館日／月曜（祝日の場合は翌日休み）、年末年始



本尊・千手観音を安置している「広船観音堂」。

りんごの里・
広船にある
坂上田村麻呂
ゆかりの社

広船神社

創建は坂上田村麻呂によると伝えられ、津軽三十三観音霊場のひとつ（第28番札所）となっている。また、神社に奉納される「広船獅子（熊）踊り」は、古式を伝える民俗文化財として貴重な存在である。



◎ 平川市広船広沢89

津軽為信が愛娘を偲び建立

三重塔跡

初代津軽藩主・為信の娘・富姫が慶長8年（1603）に死去したのを偲び、「三重塔」を建立。その後、寛永年間に落雷により焼失したといわれている。

- ◎ 平川市本町北柳田23-8
- ◎ 問い合わせ／平川市教育委員会生涯学習課 (TEL 0172-44-1221)



平賀の
とっておき

「津軽サービスエリア(下り線)」でのお買い物

周囲をりんご畑に囲まれた場所にある東北自動車道「津軽サービスエリア(下り線)」。りんごジュースなど、りんごを加工したおみやげが多いことで知られる。エリア内にはりんご園もあり、秋には収穫体験ができる。

- ◎ 平川市津軽宮崎69-7
- ◎ TEL 0172-44-7192
- ◎ 営業時間／8:00～20:00
- ◎ 定休日／無休
- ※ 一般道からの出入口と駐車場があり、一般の方の利用も可能



津軽平野と岩木山を一望
最高のビュースポット



いま行きたい
3つのエリア
HIRAKA

平賀

岩木山を望む津軽平野の夕景、珍しい白い岩壁……。平川市まで来なければ見られない自然風景である。

志賀坊森林公園

標高350メートルに位置する公園から望む岩木山と津軽平野は必見だ。夕暮れ時がおすすめで、空が徐々に紅から群青に変化し、街に明かりが灯っていくさまは幻想的で美しい。

遊歩道も整備されているので、散策も楽しめる。

- ◎ 平川市広船黒倉沢47-1
- ◎ 開園期間／4月中旬～11月中旬
- ◎ 問い合わせ／志賀坊ふれあい館 (TEL 0172-44-2941)



東屋からの眺望は、撮影スポットとして人気が高い。

津
軽
の
自
然
・
暮
ら
し
を
伝
え
る

平川発のブランド「津軽の桃」

ジュシーでスウィート



ももさわ菓子舗の「ぶるるん桃水」

津軽の桃の果汁を使った、白あんベースの水羊羹。ゼリーのような食感で甘さ控えめのさっぱり味で、果肉がトッピングされたぜいたくな和スイーツである。

- 平川市本町北柳田16-1 ● TEL 0172-44-2015
- 営業時間/8:30～19:00 ● 定休日/第1水曜 ● 1個220円(税別)

津軽の桃 いいモノ



道の駅いかりがせきの「津軽の桃ソフトクリーム」

津軽の桃を使った「桃のソフトクリーム」が道の駅いかりがせきでも味わえる。桃の甘みと香りが十分に感じられる上品なスイーツに仕上がっている。

- 平川市碓ヶ関磯石13-1 ● TEL 0172-49-5020
- 営業時間/4月～11月9:00～19:00、12月～3月9:00～18:00
- 定休日/年末年始 ● 350円(税込)

菓子処西谷の「桃のシューキューブ」

シュークリームといえば丸い形が定番だが、「菓子処西谷」のものは四角形。サクサクしたシュー生地の中は、津軽の桃とクリームが2層構造。見た目もおしゃれでおいやげにしてみれば喜ばれそう。

- 平川市尾上栄松61-2 ● TEL 0172-57-2240
- 営業時間/8:00～19:00
- 定休日/不定休 ● 1個400円(税込)



産直センターひらか(アグリアス)の「桃のソフトクリーム」

津軽の桃の果汁を50パーセントもぜいたくに使用したソフトクリーム。滑らかな食感で、ふわっと溶けていくと同時にミルクと桃の風味が口の中いっぱい広がる。

- 平川市小和森上松岡211-1 JA津軽みらい ● TEL 0172-43-1831
- 営業時間/4月～11月7:30～18:00、12月～3月8:30～17:30
- 定休日/年末年始 ● 250円(税込)

ももさわ菓子舗の「桃プリン」

子どもから大人まで広く親しまれているプリン。口どけなめらかなプリンの上に津軽の桃のソースをかけた一品。卵のコクと桃の甘さのバランスも絶妙でおいしい。

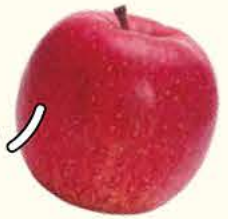
- 平川市本町北柳田16-1 ● TEL 0172-44-2015
- 営業時間/8:30～19:00
- 定休日/第1水曜 ● 1個230円(税別)



平川 おいしいもの
ときめくフルーツ

かわいらしい形や自然の色彩、鼻をくすぐる甘い香り。平川市のジュシーなフルーツは、口福をもたらしてくれる。

りんご いいモノ



古川菓子舗の「アップルケーキ」

りんごをまるごと1個、閉じ込めたケーキ。手みやげにも喜ばれるスイーツだ。

- 平川市尾上栄松24-1 ● TEL 0172-57-2206
- 営業時間/7:30～19:00
- 定休日/無休 ● 1個890円(税込)



釈迦のりんご園の「干しりんごー百年の想いー」

土にこだわり、化学肥料や除草剤を使わずに育てた完熟りんごを乾燥させた干しりんご。八つ切りタイプとスライスタイプがあり、どちらも凝縮したりんごのおいしさを味わえる。

- 平川市広船広沢87-2 ● TEL 0172-44-3946
- <http://www.hirofune.com/>
- 4パック1,642円(税込)



那由多のりんご園の「ハート型りんごジュース tageme」

「tageme」とは津軽弁で「とてもおいしい」という意味。りんごをそのまま搾ったストレート100パーセントのジュースは、フレッシュな味わい。ハート型の瓶を4本束ねると四つ葉のクローバー型になるという仕掛けもすてき。味は早生ふじなど6種類。

- 平川市沖館長田107-2 ● TEL 0172-44-3433
- <http://miura-apple.com/>
- 200ml×4本入り3,456円(税込)

おいしさの秘密は
気候風土と愛情

平川市は、りんご王国青森の中でトップクラスのりんごを生産している。その品質の高さは、「青森県りんご品評会」で最高賞の「農林水産大臣賞」を36回も受賞しているほど(平成31年時点)。おいしさの秘密は、良質な土地と水、寒暖差のある冷涼な気候にある。そして、生産者のためまぬ努力も。5月から始まる摘花と摘果作業、9月の葉摘みと玉まわしは、根気のいる作業だが、おいしいりんごを作るには欠かせない。

収穫されたりんごは、形も味もよく、糖度も高い。フレッシュな風味を生かしたジュースやジャムなどの加工品も作られており、1年を通して平川市のりんごが楽しめる。

りんごの栽培技術を活用して作られているのが「津軽の桃」である。平成19年度に県内で初めて桃の光糖度センサーを導入し、生果用だけではなく加工用の桃もセンサー選果するという徹底ぶり。果肉が締まり、深い甘みがあるうえ、日持ちもよいと評価が高い。



平川おいしもの 愛すべき老舗食堂



四代目 西谷豊さん。

いつもの店で、いつものラーメン。
平川グルメの良さは、

昔ながらのラーメンで、ほっとする味。
ふだんの何気ないところにある。



外壁にかけられた地元作家・西谷逸泉さんの絵がかわいらしい。



店を切り盛りするのは、三代目の佐藤全良さん・美子さん。

三笠食堂の
「自然薯ラーメン」



「自然薯ラーメン しょうゆ (650円・税込)」。胡椒が効いているほか、麺にも特徴があり、細麺・中太麺・太麺と3種混合麺になっている。



昭和テイストが漂う店内は、懐かしさが感じられ、心地よい。



ほくとした自然薯ときめ細かい豚ヒレ肉の異なる食感が絶妙。

味の香園本店の
「太打ち中華」



先代が「ほかにないものを」と考案した「太打ち中華 (590円・税込)」。

● 平川市尾上栄松32-1 ● TEL 0172-57-2145
営業時間 / 11:00 ~ 17:00 ● 定休日 / 水曜 (祝日の場合は翌日休み)
● アクセス / 弘南鉄道津軽尾上駅から徒歩約10分

● 平川市碓ヶ関71 ● TEL 0172-45-2503
営業時間 / 11:00 ~ 20:00 ● 定休日 / 第2・4日曜
● アクセス / JR碓ヶ関駅から徒歩約15分



カウンターの上に飾られているおかもの蓋。「明治三十三年」の墨書にも歴史を感じる。



「Aセット (800円・税込)」。ラーメンが左側にあるのは、レンゲを左手で持つ人が多いからという。

遺言を守り、
手抜きなし！
一番人気は
トリプル炭水化物

大十食堂の
「Aセット」



かつて店の前に駐車場があった。

● 平川市尾上栄松19-1 ● TEL 0172-57-2022 ● 営業時間 / 11:00 ~ 16:00 (売切れ次第終了) ● 定休日 / 月曜 (祝日の場合は翌日休み) ● アクセス / 弘南鉄道津軽尾上駅から徒歩約10分

尾上の十字路にある
百年食堂

尾上エリアの中心街、十文字に初代・西谷重助さんが店を開いたのは明治33年(1900)のこと。現在は、四代目・豊さんが調理場に立つ。

一番人気は「Aセット」。ラーメンもやきそばも食べたいというお客様の希望から誕生した。ラーメンは自家製の縮れ麺に、マイワシの焼干し・豚骨・昆布などで取ったスープを合わせたもの。やきそばは、豚肉やタマネギと二緒にラードで炒め、濃厚なソースを絡めている。このソースの風味がラーメンのあつさりとしたスープに合い、味の相乗効果を生んでいる。手間をかけるのは、「お客さんのために、先代も先々代もやってきたことだから」と言う。味を守り続ける姿は、多くのお客様を惹きつけてやまない。

村おこしから生まれた
自然薯ラーメン

旧碓ヶ関村時代、村おこしから生まれた「自然薯ラーメン」。碓ヶ関特産の自然薯を練り込んだ中華麺を使ったもので、当初は9軒で始まったが、現在は3軒が提供している。

「三笠食堂」では、さらに自然薯を豚ヒレ肉の中に刺し込んでから炊いた特製チャーシューをトッピングして、ご当地らしさをアップ。専用につったスープとの相性も抜群だ。

昔ながらのラーメン
特徴は麺の太さ！

昭和20年代創業の食堂。そばやうどんなど、さまざまなそばなかで、おすすめは「太打ち中華」だ。メニュー名どおり麺はうどんのように太い平打ち麺だが、豚骨と煮干しで取ったスープとの絡みがよく、すると食べられる。この太さは自家製だからできることとか。手作りのチャーシューも大きく柔らかくて美味。手作りを大切に作る店の味をじっくりと楽しみたい。

「平川サガリ」を
やきとりで味わえる店

やきとり

やきとり 元。

メインは、炭火で焼くやきとり。
平川サガリの「牛サガリ串」は、
テーブルに置かれた自家製の甘
辛漬けタレで味わおう。くれぐれも
2度漬けないように。

◎ 平川市本町北柳田21-7 ◎ TEL 0172-44-9123
◎ 営業時間 / 17:00 ~ 23:00 ◎ 定休日 / 不定休
◎ アクセス / 弘南鉄道平賀駅から徒歩約3分



1 手前が「牛サガリ串 (180
円・税込)」、奥が「串焼きA
セット (500円・税込)」。
2 創作料理もあり、30代を
中心に若い人も訪れる。



おもてなしの心で作る
そばとラーメン

そば・ラーメン

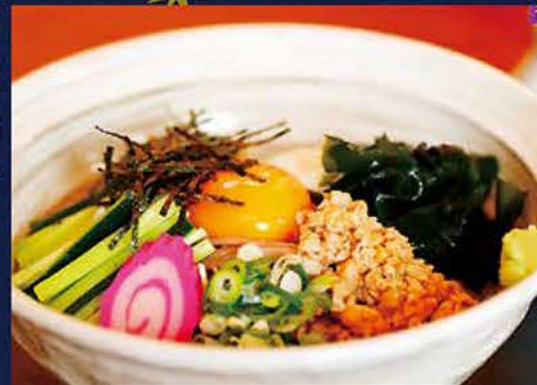
蕎麦処 そばや

昼も夜も営業しており、幅広い
客層が来店する店。看板メニュー
は「納豆そば」だが、実は自家製
チャーシューがのったラーメンも人
気である。

◎ 平川市本町北柳田8-36 ◎ TEL 0172-44-8259
◎ 営業時間 / 11:30 ~ 13:30、19:00 ~ 24:30
◎ 定休日 / 火曜、日曜の昼
◎ アクセス / 弘南鉄道平賀駅から徒歩約3分



1 「納豆そば (880円・税込)」は、
思いっきり混ぜてから食べよう。
2 19時頃は家族連れの食事、遅
い時間はで訪れるお客が多い。



居酒屋 呑み処 四季坊 正

名物は「しらうおの唐揚げ」で、
味が塩・コンソメ・のり塩の3種類。
旬の食材を使った料理が多い。料
理と日本酒のマリアージュを大切に
しているため、珍しい銘柄も並ぶ。

◎ 平川市本町北柳田13-29-2F
◎ TEL 0172-55-6756
◎ 営業時間 / 17:00 ~ 23:00
◎ 定休日 / 不定休
◎ アクセス / 弘南鉄道平賀駅から
徒歩約5分



自慢は旬の魚と日本酒
のコラボを堪能

平川おいしいもの 夜も食べ 処で乾杯

旅の最大の楽しみは、
地元客でにぎわう夜の店で、

何とんでも「食」だろう。
店おすすめの料理を堪能しよう。



1 店内には生簀があり、
新鮮な魚介が味わえる。
2 3種類の味から選べる
「しらうおの唐揚げ (480
円・税別)」。



1 「刺身盛り合わせ」は
1人前1,500円~ (税別)。
写真は2人前。
2 寿司ネタは季節によ
って変わるので、津軽の旬
の味を味わえる。

珍しい魚料理もある
地元で愛される店



寿司 大前寿し

創業28年、盆や正月には帰省客
も訪れる人気店。「刺身盛り合
せ」は、旬を大切にするため、日
によって内容が変わる。「鯛カブト
の酒蒸し」など、珍しい魚料理もあり。

◎ 平川市本町平野24-1
◎ TEL 0172-44-7095
◎ 営業時間 / 16:30 ~ 23:00
◎ 定休日 / 水曜
◎ アクセス / 弘南鉄道平賀駅から
徒歩約10分



採れたての山菜料理
裏メニューもあり



1 店の前に駐車場があり、2~3台停め
られる。
2 「山菜・きのこ料理 (1,500円~)」。「天
ぷら (500円~)」。全て税込。

居酒屋・スナック

スナック いっき

ママが自ら採る山菜料理が評判
の店。ばっけ(ふきのとう)、タラの芽、
たけのこなど季節の味が楽しめるの
で、何度でも通いたくなる。「け
の汁」や「きのこ鍋」など郷土料理も
おいしい。

◎ 平川市本町平野12-7
◎ TEL 0172-44-7377
◎ 営業時間 / 17:00 ~ 23:00
◎ 定休日 / 不定休 ※人数が多い場合は要予約
◎ アクセス / 弘南鉄道平賀駅から徒歩約10分



1 壁いっぱい貼られたお品書き。
どれもおいしいので迷いそう。
2 「刺身盛り合わせ」は1人前1,500
円(税込)。写真は2人前。

市場から仕入れる食材
メニューは100種類!

和食 かんちゃん

「自分が通いたくなるような店」を
目指している店主。好きなものを食
べてほしいからと、メニューは約100種
類と豊富。週末は予約を取ってから。

◎ 平川市本町北柳田126-6
◎ TEL 0172-44-3607
◎ 営業時間 / 17:00 ~ 24:00
◎ 定休日 / 第2・4・5日曜 ※連休時は月曜休
◎ アクセス / 弘南鉄道平賀駅から徒歩約5分



湯っこで 癒されて

あふれる湯を
全身で感じる

「トド寝」も満喫！

まち巡りのあとは
平川自慢の湯っこへ。
秘湯から気軽な
日帰り湯まで、
個性もいろいろ。



古遠部温泉

山中にあるにもかかわらず、多くの人が訪れる理由は、毎分500リットルという湯量。湯船からあふれた湯は床に波紋をつくるほどで、床に仰向けに寝転がる「トド寝」を楽しむ人も。ちょうど良い湯温が体を芯まで温めてくれる。

◎平川市碓ヶ関西碓ヶ関山1-467 ◎TEL 0172-46-2533 ◎宿泊料金/1泊2食付き9,400円
◎日帰り入浴時間/8:30~20:00(冬季9:00~19:00) ◎日帰り入浴料/大人350円、子ども
無料 ◎定休日/無休 ◎泉質/ナトリウム・カルシウム・塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉

体も心も潤う
平川湯巡り
山深い地にある秘湯、地元の人々が足繁く通う日帰り温泉など、平川市には泉質も風情も異なる温泉が数多くある。中には朝早くから営業している温泉もあり、入浴してから出社する常連客もいるとか。
ドライブ途中にふらりと立ち寄ったり、はしご湯をしたり、いろいろな楽しみ方ができるのがうれしい。

気軽に美肌の湯
清々しい1日を

◆津軽おのえ温泉 日帰り宿 福家



◎平川市新屋町道ノ下35-2 ◎TEL 0172-5510200 ◎営業時間/5:00~22:00(朝風呂は5:00~8:00) ◎入浴料/大人500円 朝風呂(5:00~8:00)300円 ◎定休日/不定休 ◎泉質/アルカリ性単純泉(低張性アルカリ性温泉)

朝早くから営業している日帰り湯。泉質は「美肌の湯」といわれるアルカリ性単純泉で、湯上りの肌はしっとりとした。ぬる湯とあつ湯がある湯船や露天などを堪能したあとは、食事とマッサージで心も体もリフレッシュ。



今は何色？
刻々と色が変化する名湯

◆みどりの天然温泉 新屋温泉

源泉掛け流しの湯は神秘的なエメラルドグリーン。天然温泉のため、時間によって白濁した緑色や無色透明になることも。湯船に入ると湯は、ややぬるめで、とろりと柔らかく滑らかな肌触り。シャワーも源泉掛け流しで、温泉そのものが楽しめる。



◎平川市新屋平野84-14 ◎TEL 0172-4418767 ◎営業時間/4月~11月5:30~21:30 12月~3月7:30~21:30 ◎入浴料/大人400円、小学生100円、幼児60円 ※4月~11月朝風呂5:30~7:30 /大人250円、小学生100円、幼児無料 ◎定休日/無休 ◎泉質/含硫黄ナトリウム硫酸塩塩化物泉(硫酸水素型)

温泉旅を満喫するなら朝湯も

平川の温泉施設

宿泊・日帰り温泉 ■ 尾上エリア ■ つがる温泉 TEL 0172-57-4511 ■ 平賀エリア ■ 柏木温泉 TEL 0172-44-7600 からんころん温泉 TEL 0172-44-4210 大坊温泉 TEL 0172-44-3059 南田温泉ホテルアップルランド TEL 0172-44-3711 温川温泉 TEL 090-2450-3852 ■ 碓ヶ関エリア ■ 羽州路の宿あいのり TEL 0172-49-5005		古遠部温泉 TEL 0172-46-2533 日帰り温泉 ■ 尾上エリア ■ さるか荘 TEL 0172-57-5316 津軽おのえ温泉 日帰り宿 福家 TEL 0172-55-0200 大和温泉 TEL 0172-57-2852 ■ 平賀エリア ■ 新屋温泉 TEL 0172-44-8767 唐竹温泉 TEL 0172-44-3748 鷹の羽温泉 TEL 0172-44-4526		館田温泉 TEL 0172-44-8565 花の湯 TEL 0172-49-7311 平賀観光温泉 TEL 0172-44-8585 松崎温泉 TEL 0172-44-8251 芦毛沢温泉 TEL 0172-44-0526 ■ 碓ヶ関エリア ■ 碓ヶ関温泉会館 TEL 0172-45-2226 古懸コミュニティ浴場 TEL 0172-45-2300 久吉たけのこ温泉 TEL 0172-46-2117 道の駅いかりがせき 関の庄温泉 TEL 0172-46-9355	
--	--	--	--	--	--



サイクルツーリズム

コース1 ショートコース

平川の主要スポットをめぐる観光コース

コース ホテル→猿賀公園・盛美園→農家蔵・蔵並み通り→広船観光りんご園→ホテル
●距離／19.7キロ ●所要時間目安／2時間

コース2 ミドルコース

サイクルトレインで津軽をめぐるプチトリップコース

コース ホテル→鯛 come →サイクルトレイン(弘南鉄道大鰐線大鰐駅～弘前中央駅)→田舎館役場(田んぼアート)→猿賀公園・盛美園→ホテル
●距離／44キロ ●所要時間目安／4～5時間

コース3 ロングコース

津軽の食・文化・景観をめぐる盛りだくさんコース

コース ホテル→鯛 come →道の駅いかりがせき→道の駅虹の湖→道の駅いなかだて→ホテル
●距離／89.4キロ ●所要時間目安／6～7時間

◎サイクルプランについての問い合わせ／南田温泉ホテルアップランド(TEL 0172-44-3711)
サイクルラック設置場所については、本誌26ページをご覧ください

津軽の原風景が広がる「りんごの里」の魅力をサイクリングで楽しむプラン。ターミナルとなる、南田温泉アップランドで自転車のレンタルを行っているほか、市内5カ所に無料の駐輪装置・サイクルラックを設置している。



農村生活体験 ファームステイ

田植え、リンゴや野菜の栽培・収穫など、その季節に合った農作業のほか、宿泊しながら郷土料理作りを体験。スローライフを満喫できるプログラムとして好評。

農業生産法人 グリーンファーム農家蔵

◎平川市金屋中松元88-1
◎TEL 0172-88-5039
◎受入期間／通年
◎体験日数／1～4泊
◎体験料金／要問い合わせ・要相談



フルーツ収穫体験

おいしい農作物が栽培されている観光農園でフルーツの収穫体験。

広船観光りんご園

◎平川市広船地区 ◎TEL 090-8256-4037(事務局・外川)
◎体験期間／9月上旬～10月下旬
◎体験時間／9:00～16:00
◎入園料／要問い合わせ

あすなろブルーベリー農園

◎平川市大坊竹原218-1 あすなろ理研 ◎TEL 0172-44-1159
◎体験期間／7月上旬～8月上旬
◎体験時間／8:30～16:30 ◎入園料／大人500円・子ども300円

兼春さくらんぼ園

◎平川市沖館長田349-1 ◎TEL 0172-44-7420
◎体験期間／6月中旬～7月中旬 ◎体験時間／9:00～16:00
◎入園料／第一農園：大人800円・子ども400円、第二農園：大人1,000円・子ども500円



平川に 体験する ハマる プラン

平川市のことをもっと知りたい、発見や感動と出会い、充実した平川時間を。

ひらかわ案内人 ガイドコース

コース1

盛美園 ～和洋折衷の不思議な世界～コース

本コースでは非公開の2階を見学できます。

●所要時間／1時間 ●料金／1名2,000円(入場料込)
●催行人数／1名～(最大5名) ●申込締切／希望日の5日前まで

コース2

猿賀神社～のどかな自然をゆったり散歩～コース

●所要時間／1時間 ●料金／1名1,500円 ※6名以上は割引プランあり
●催行人数／1名～ ●申込締切／希望日の5日前まで

コース3

じっくり歴史の道 羽州街道矢立峠コース

●所要時間／2時間30分 ●料金／1名3,000円 ※6名以上は割引プランあり
●催行期間／5月中旬～10月 ●催行人数／1名～ ●申込締切／希望日の5日前まで

コース4

まったり碓ヶ関の歴史旧跡めぐりコース

●所要時間／3時間30分 ●料金／1名2,000円 ※6名以上は割引プランあり
●催行期間／4月～11月 ●催行人数／1名～ ●申込締切／希望日の5日前まで

◎問い合わせ／(一社)平川市観光協会(TEL 0172-40-2231) ◎受付時間／平日9:00～16:00

ひらかわ案内人と「まち」を歩く
観光客を温かくもてなし、地域の魅力を伝える「ひらかわ案内人」。歴史や暮らしを聞き取りやすい津軽弁で案内してくれるのも魅力だ。コースは4本あるが、「盛美園」と和洋折衷の不思議な世界」は、非公開の2階空中楼閣を見学できる特別プラン。清藤家と盛美園の歴史も深く学べるコースである。

熊獅子と鹿獅子の競演 津軽最大級の例大祭



①② 多くの観客が見守る中、県内各地の伝統芸能保存会による獅子踊り、笛や太鼓のお囃子に合わせて披露される。

参道には屋台も並び、にぎわいを見せる。

猿賀神社十五夜大祭

津軽を代表する
秋祭り

岩木山神社、高山稲荷神社とともに津軽三大神社に数えられる「猿賀神社」では、毎年旧暦8月14日・16日に津軽最大の例祭「十五夜大祭」が行われる。県無形民俗文化財「津軽神楽」が奉納されるほか、県下獅子踊大会や神輿渡御などが行われる。2日目にあたる十五夜には「観月祭」が挙行され、厳かな雰囲気にも包まれる。



2日目に催される観月祭。

鏡ヶ池の橋には行灯がともされ、情緒を醸し出す。

◆猿賀神社十五夜大祭

- 開催日時／旧暦8月14日～16日
- ・1日目(待つ宵) 9:15～県下獅子踊大会、18:00～宵宮祭
- ・2日目(十五夜) 11:00～例祭、19:00～観月祭
※十五夜参りは随時
- ・3日目(十六夜) 11:00～神恩感謝祭
- 会場／猿賀神社
- 問い合わせ／猿賀神社(TEL 0172-57-2016)

平川市イベントカレンダー

8月2日・3日	平川ねぶたまつり(平賀駅前)
4月下旬	広船志賀坊まつり(志賀坊森林公園)
8月5日	おのえ夏まつり(平川市役所尾上総合支所前)
4月下旬～5月上旬	おのえ桜と植木まつり(猿賀公園)
旧8月14日～16日	猿賀神社十五夜大祭(猿賀神社)
5月下旬	白岩まつり(白岩森林公園)
9月上旬	ひらかわフェスタ(楽天イーグルスひらかドーム)
5月下旬	農家蔵・農家庭園めぐり(金屋地区)
11月下旬～2月中旬	ひらかわイルミネーションプロムナード(平賀駅前)
6月～10月	ひらか和「温泉銀座ララー」(参加温泉施設)
旧1月7日	猿賀神社七日堂大祭(猿賀神社)
6月下旬	たけのこマラソン(碓ヶ関中学校)
1月下旬	農家蔵ライトアップ(金屋地区)
7月下旬	平川市蓮の花まつり(猿賀公園)
2月上旬	はしご酒まつり(参加店)



ねぶたの囃子は団体ごとに異なり、調子が心地よい。

観客を楽しませる前ねぶたも見どころのひとつ。

心踊るねぶたまつりや、津軽最大の十五夜大祭など、情緒のあるまつりのほか、楽しいイベントも盛りだくさん。

約30台のねぶたが平賀駅前を練り歩き、多くの観客でにぎわう。

世界一の 扇ねぶたが 練り歩く

道幅をいっぱいを使い、観客をも誘散らすような堂々たる「世界一の扇ねぶた」の姿は圧巻。

ねぶた山車だけでなく、太鼓台車にも注目。

平川ねぶたまつり

◆平川ねぶたまつり

- 開催日時／8月2日・3日 18:30～運行終了しだい
- 会場／平川市役所前～弘南鉄道平賀駅前
- 問い合わせ／平川市商工会(TEL 0172-44-3055)

◆おのえ夏まつり(旧・おのえねぶた祭り)

- 開催日時／8月5日 18:30～20:30
- 会場／尾上中学校～平川市役所尾上総合支所
- 問い合わせ／平川市観光協会(TEL 0172-40-2231)

ねぶた展示館

- 平川市柏木町藤山16-1 ●開館時間／8:30～16:30 ●入館料／無料
- 休館日／6月中旬～7月中旬(ねぶた絵貼り替え期間) ※天候により臨時休館あり



津軽地方の夏の風物詩といえ、ねぶたまつり。平川市では「平川ねぶたまつり」と「おのえ夏まつり」が開催され、多くの観光客でにぎわう。

平川ねぶたまつりは、約30台の扇ねぶたが出陣し、団体ごとに囃子や掛け声などが異なるのが特徴。パレードの最後尾を飾るのは、高さ12メートルもある「世界一の扇ねぶた」だ。水墨画調で描かれた絵も珍しい。

堂々たる行列
余韻を残す囃子



りんごのリズム

平川市の特産・りんごをデザインした手ぬぐい。ふだん使いに限らず、ファッションシーンやインテリアのアイテムとしてもどうぞ。

久光社 TEL 0172-57-5218
 ◎「りんごの響」650円、
 「りんごの二重奏」850円
 (全て税別)

インテリアに
 めぐみ



APPLE LIGHT

「備え」と「癒し」が一緒になった新しいタイプの防災用ライト。停電時や災害時に使用するのを目的に造られたが、日々の暮らしの中でもベッドサイドの灯りなどとして優しい光で空間を演出してくれる。

光城精工
 ◎ TEL 0172-44-4560 ◎ 1個 3,190円(税込)



平川の魅力をお持ち帰り

かわいらしい手ぬぐい、
 特産のおいしい食材や加工品。
 旅の最後は買って、使って、食べて、
 楽しくなるおみやげ選び。

SOUVENIR
 おみやげ



かやぎみそマグネット・ 干し餅マグネット

「かやぎみそ」とは青森の郷土料理「ホタテの貝焼き味噌」のこと。本物のホタテの稚貝を使ってミニチュアマグネットにしている。ハンドメイドのため、同じものが一つとない。干し餅マグネットもあり。道の駅いかりがせきで販売中。

north castle
 ◎ northcastle0@gmail.com
 ◎ かやぎみそマグネット(1個700円)、
 干し餅マグネット(1個600円)、全て税込



ドルチェようかんワイキューブ (津軽:青森りんご&ローズヒップ味)

こざん刺しをモチーフにした箱に入っているのは、3センチ角のかわいらしい羊羹。「津軽」は、青森りんごとローズヒップのさわやかな風味が特徴で、お茶にもコーヒーにもぴったり。

タグポート株式会社
 ◎ TEL 0172-55-0201 ◎ 1箱4個入702円(税込)

平川サガリ

平川市民に愛され定番となっている肉の部位「サガリ」。市内では家族や仲間との団欒のご馳走として、庭で炭をおこし、サガリやホルモンなどが食されてきた。

水木精肉店 ◎ 平川市町居南田79-1 肉の縁金 ◎ 平川市本町北柳田11-17 (平賀駅前)
 ◎ TEL 0172-44-2566 ◎ TEL 0172-44-2035



鉄道ファンにも 愛されるローカル線

弘前市と隣接する市町村を結ぶ「弘南鉄道」。大正15年(1926)設立と歴史は古く、弘前市から大鰐線と弘南線が運行されている。2路線のうち平川市を通るのは弘南線で、沿線の風景が美しいローカル線として鉄道ファンに人気が高い。弘前駅を出発した電車は、岩木山を背に走り、平川市内に入り、平賀駅を過ぎると車窓左手に雄大な岩木山が見えてくる。次の柏農高校前駅は、赤色が印象的な駅舎だ。その隣の津軽尾上駅は、ジブリ映画の舞台の参考になったといわれている。「盛美園」の最寄り駅でもある。このローカル線に乗っていると、津軽平野の豊かさが感じられる。平成27年(2015)、この地で栽培されたブランド米「青天の霹靂」が本格販売された。程よい粘りとキレを持ち、上品な甘みを持つ米で、青森の農家の実力を知らしめた。秋には田んぼが金色に輝き、果樹園ではリンゴが赤い実をつける。その中を電車が走る姿は美しく、旅情をかきたててくれる。



車窓からの眺めも抜群「弘南鉄道弘南線」



1 柏農高校前駅は岩木山を背景に撮影できるスポット。2 リンゴ畑の中を走る弘南鉄道。3 雪をかき分け走る除雪用ラッセル車。4 季節ごとにイベント列車があり、冬には津軽の郷土料理を味わう「けの汁列車」が運行される。5 昭和55年(1980)、東急から譲受された車両。かつて弘南線の主力車両として活躍した。6 昭和30年代の弘南鉄道平賀駅。7 弘南鉄道のイメージキャラクター「ラッセル君」8 大鰐線弘南線共通1日フリーキップ「大黒様きっぷ」を使ってローカル線旅。

弘南鉄道 ◎ 平川市本町北柳田23-5 ◎ TEL 0172-44-3136



やっぱりここだね
HIRAKAWA MAP
ぶらりまち歩き

平賀・尾上エリア
碓ヶ関エリア
東部エリア

タクシー

- 平賀ハイヤー TEL 0172-44-2731
- 昭和タクシー TEL 0172-46-2121

サイクルラック設置場所 無料

- 道の駅いかりがせき
- さるか荘 (平川市尾上農村環境改善センター)
- 四季の蔵もてなしロマン館
- JA津軽みらい産直センターひらかわ (アグリアス)
- ねぶた展示館

Wi-Fiフリースポット 無料

- 平川市役所本庁舎2階ロビー周辺
- 健康センターロビー周辺
- 平川市文化センターエントランスホール周辺
- 猿賀神社社務所周辺
- さるか荘 (平川市尾上農村環境改善センター) 周辺
- 四季の蔵もてなしロマン館周辺
- 平賀総合運動施設テニスコート、多目的広場、陸上競技場周辺
- 道の駅いかりがせき周辺

FREE Wi-Fi ご利用方法

- 無線通信機能がある機器のWi-Fi設定画面で、SSIDを「hirakawa-Wi-Fi」に選択します。
- パスワードに「hirakawa」と入力します。
- 上記2の後、自動的にブラウザが起動しない場合は、手動でブラウザを立ち上げ、利用規約をお読みいただき、「利用登録」もしくは「各SNS」をクリックします。
- 利用登録で、利用者名とメールアドレスを記入し、「同意します」を選択します。
- 利用登録が完了します。
- 登録したメールに送信された利用者IDを入力します。
- 利用案内が表示されたら、「利用開始」をクリックします。
- インターネットが利用できるようになります。

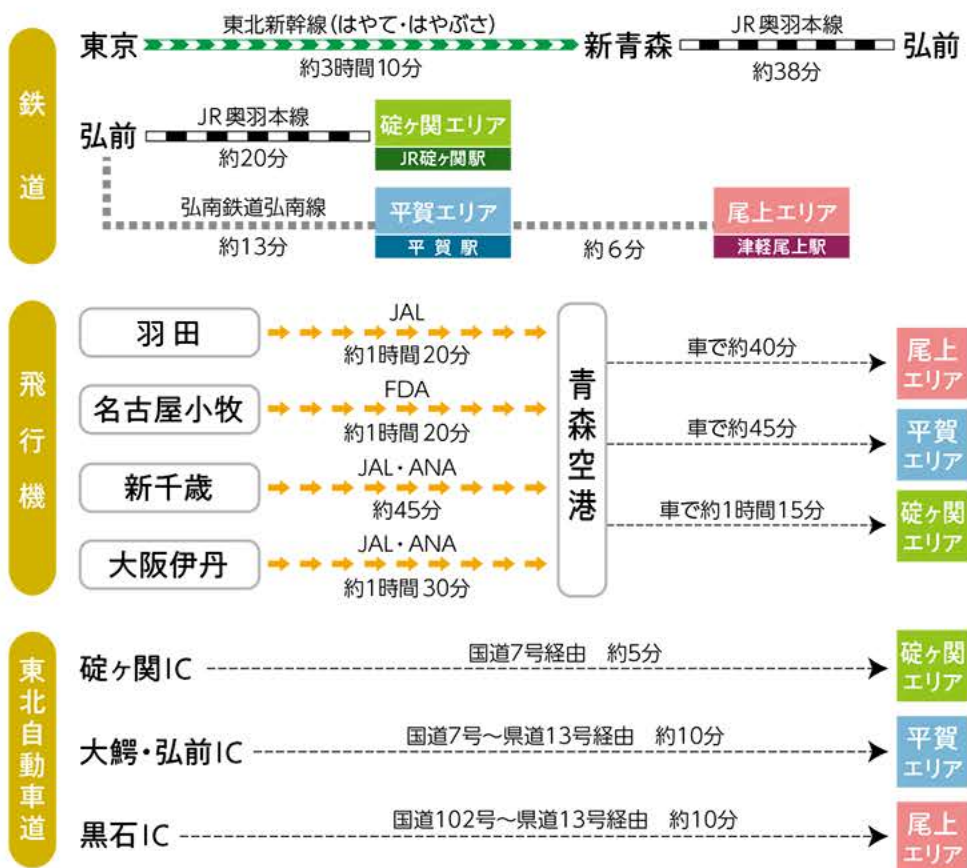
平川市広域マップ

HIRAKAWA MAP



アクセスガイド

ACCESS GUIDE



ra kra × 平川

とって おきの平川を探しに行こう

発行/平川市 お問い合わせ/平川市経済部商工観光課
〒036-0242 青森県平川市猿賀南田15番地1 TEL 0172-44-1111 FAX 0172-43-5005

本誌に掲載している情報は、2020年3月1日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。

平川市 検索

携帯・スマートフォンで読み取り
平川市HPサイトへ

